

令和8年度とやま呉西圏域調査研究事業に関する地域課題

No.	提案市	研究を依頼したい 地域課題・研究テーマ	内容
1	高岡市	関係人口として選ばれる地域づくりについて	関係人口は、地域に新たな人流と交流を生み出し、消費の増加や地域イベントへの参加などを通じて、地域経済の活性化や地域の活気維持に貢献するものです。 圏域には、世界遺産の合掌造り集落、豊かな農産物・海産物、伝統工芸、古い町並みなど、多様で魅力的な地域資源が点在しています。しかし、その魅力が十分に全国に伝わっていない、あるいは地域内で活用しきれていない現状があると考えます。 関係人口は、将来的な移住・定住につながる可能性もことから、圏域の魅力や暮らしを肌で感じてもらえる関係人口増加の手法を全国的な事例も参考に研究いただきたいです。 また、令和8年度には国において、関係人口の規模や地域との関係性を可視化し、地域の担い手確保や活性化につなげる「ふるさと住民登録制度」が始まることとされており、選ばれる圏域となるための効果的な手法を研究していただきたいです。
2	氷見市	大学生の卒業後の進路に関する意識調査と呉西圏域内に定住してもらうための政策提言	県内の大学に通う学生に卒業後の県内企業等への就職を促し、呉西圏域内への定住により人口減少対策につなげる。そこで、下記事項について調査・分析・提案をお願いしたい。 ①：県内の大学に通う学生の卒業後の進路に関する意識調査と分析 ・県内出身者、県外出身者等の属性ごとに富山県に残るのか、地元に戻るのか、それ以外かの現状把握とその理由など（富山県が平成27年度に実施した調査項目参照） ②：①の調査・分析を受けて、呉西圏域内に定住してもらうための政策提言
3	氷見市	とやま呉西圏域での若い女性の定着に向けた研究	若い女性の圏域外への流出、定着率の低さについては、とやま呉西圏域ビジョン懇談会や推進協議会でも大きな課題として取り上げられている。 令和3年度には、他の地域課題テーマである「有効な移住・定住施策について（人口動態の分析）」や、「地域で育む子育て環境形成への有効な施策について」、「大学生の卒業後の進路に関する意識調査と呉西圏域内に定住してもらうための政策提言」について研究いただいたが、これらの研究結果を参考としつつ、若い女性に特化した圏域内での定着に向けた研究を実施していただきたい。 若い女性の定着に寄与する要因としては、就労機会の確保が考えられるが、若い女性がどういった就労及び就職先を求めているのか、また、どういったメリットや環境があれば、圏域外への転出後に戻ってきたり、他地域から移住定住していただけるのか調査、研究をお願いしたい。
4	氷見市	震災からの創造的復興による呉西圏域の交流人口の創出のための研究	令和6年能登半島地震の影響により、被災地区の公費解体が進んだことで、地域からの転出者の増加によるコミュニティの希薄化や、空き地の増加が問題になっている。 空き地の暫定的な活用の方法や、将来のまちのすがたについて住民や行政と連携して意見交換や活動を行うことで、まちの「いま」と「これから」のビジョンを構築し、地域のコミュニティ活動の維持や、人口流出の抑制、関係人口の増加につながる創造的な復興を目指すための研究をお願いしたい。
5	砺波市	チューリップ花首の産業利用の可能性について	富山県の花である「チューリップ」は、呉西地域では砺波市をはじめ、他市においても球根栽培が行われている。 球根栽培においては、開花後、品種や病気の有無の確認が済み次第、球根を肥大化させるため、摘花作業が行われ、摘花された花首は、ほぼ廃棄されている。 廃棄される花首をバイオマスや日用品などの原材料とすることができれば、農家の収入増につながるなどの効果が期待できると考えるが、効果的な活用方法等について提案してもらいたい。
6	小矢部市	呉西圏域ふるさと納税返礼品の開発・研究による地場産業振興に関する研究	ふるさと納税については、各構成市における重要な財源としての位置を確立しており、今後ますます市場規模が拡大すると予想されます。 現在のところふるさと納税の返礼品については、総務省が定める地場産品基準に従って各市が特色あるものを選定することで当該市への寄附が集まるよう工夫をされているところですが、 一方で地場産品基準では、近隣の市区長村同士が共同で共通の返礼品を取り扱うことができることとされており、次の例が返礼品として認められています。 ・近隣の複数の地方公共団体が連携し、共同で開発したオリジナルの特産品を当該複数の地方公共団体が共通して取り扱うもの ・連携中枢都市圏に参加する複数の地方団体が同意のうえ、それぞれの地場産品を組み合わせ提供したもの 構成市の特色を活かし、かつ、返礼品として喜ばれる商品の開発することで構成市の財源確保と圏域全体の産業振興につながるご提案をいただきたい。
7	小矢部市	空き店舗の活用による商店街の活性化施策について	圏域内の多くの商店街において、空き店舗が増加することにより賑わいが薄れている。 空き店舗への新規出店に対する助成制度により、空き店舗の解消に対して一定の効果がある一方で、閉店する店舗の増加も増えており、その解消が難しいと感じている。新規出店促進のみならず、商店街・地域単位での活用も含めた更なる空き店舗活用施策の研究、提案をお願いしたい。
8	小矢部市	若者が働きたくなくなる企業の誘致策について	若者の県外流出による人口減少を抑えるためにも、若者が就業したくなる企業の誘致（既存企業の業務転換を含む）が必要不可欠である。 そこで、呉西圏域を取り巻く環境分析や、地元高校生らを対象とした就業ニーズ調査を行い、若者が就業したくなる企業の誘致に向けた有効な取組を提案してもらいたい。
9	南砺市	若者のふるさと回帰意識の変遷の検証と対策案の提案	圏域6市共通の課題である人口減少の原因の一つとして、進学等により転出した若者の再転入が少ないことがあげられる。 各市において、ふるさと教育が積極的に行われているが、これらの取組によって醸成された小中学生（高校生も含む。）のふるさと意識が、進学～就職の間に大きく変化していることと推測している。 そこで、過去の研究事業の成果を踏まえつつ、18～25歳の若者のふるさと回帰意識が、いつ・何が原因で変化するのか、そのメカニズムを検証しつつ、若者のふるさと回帰の意識を維持・向上させるために自治体・地域・企業に何ができるか、具体的な施策について提案をお願いしたい。
10	南砺市	地域における伝統行事の担い手・後継者確保	呉西圏域内では長い歴史を有するさまざまな伝統行事（獅子舞や山鉦など）が営まれているが、少子高齢化の影響により、多くの地域においてその担い手・後継者となる人材の確保に苦慮し、早晩、存続が危ぶまれている現状がある。伝統行事は、地域住民のアイデンティティを確立し、地域に対する愛着や誇りを醸成するものであり、これからも守っていかなければならないものであると同時に、地域住民の絆を強め、世代間の交流を生み出す重要なツールとして地域振興にとっても必要不可欠である。 そこで、圏域内をフィールドとして各市にとって共通の地域課題である「地域における伝統行事の担い手・後継者確保」について調査・研究を行い、現状把握と成功事例の分析、課題に対する有効な取組の提案をお願いしたい。
11	南砺市	呉西圏域におけるウェルビーイング調査等に基づく政策への反映	呉西圏域の持続可能な発展を目指し、ウェルビーイング（WB）指標や各種統計データなどの相関分析を通じて、エビデンスに基づく政策提言を行うことを目的とし、具体的には、①各市の既存の「市民調査」などによる市民の主体的な生活満足度、②「富山県WB指標」が示す結果の実態、③「国のWB指標」における全国比較での立ち位置、④各種統計データを総合的に分析する。 これにより、圏域独自の強みや、客観的統計と主観的実感の乖離を可視化する。この分析結果に基づき、特に「地域とのつながり」や「自分らしさ」など、県指標の重点項目や具体的な優先施策（重点投資分野や共創ビジネス支援等）を圏域の政策にどう反映させるべきかを検討する。 また、客観的統計と主観的実感の乖離を小さくすることで、人口減少社会において住民が呉西圏域に住んでいることの満足感を高め、「幸せの実感」を最大化させることにつながる。
12	射水市	とやま呉西圏域での公共施設の相互利用に向けた研究	圏域内の自治体は、それぞれに公共施設の総量削減や適正化を目指しているが、計画通りに進んでいるとは言い難い現状にある。 保有する公共施設の安全性・利便性を確保するため、多額の費用をかけ、その維持管理に努めている。 公共施設は、当然のことながら各自治体で設置しており、圏域内には、その設置目的や機能が類似している施設が多くある。 そこで、施設利用者の利便性の向上を図りつつ、圏域内の公共施設の維持管理コストの削減に繋がるよう、相互利用の可能性や課題、有効な方策について研究、提案をお願いしたい。 （例）体育館、文化施設、貸し館施設など